

總務

沿革

組織

予算

人事

消防音楽隊

給与

沿 革

- 昭和 23 年 3 月 7 日 柳井町が消防本部及び消防署を設置(昭和29年3月31日市制施行)
- 昭和 45 年 3 月 30 日 柳井市消防本部で救急業務を開始
同年4月1日から業務委託により、上関町、平生町、大島村及び田布施町の区域の救急業務開始
- 昭和 45 年 7 月 20 日 柳井地区広域市町村圏設定
- 昭和 46 年 4 月 20 日 柳井地区広域消防組合設立準備事務局を設置
- 昭和 46 年 6 月 25 日 柳井地区広域消防組合設置許可(山口県知事)
- 昭和 46 年 8 月 4 日 消防本部を設置
- 昭和 46 年 11 月 1 日 消防庁舎起工(6ヶ所)
- 昭和 46 年 12 月 1 日 第1次採用者24人任命、山口県消防学校入学
- 昭和 47 年 3 月 4 日 消防署(西消防署、東消防署)を設置
- 昭和 47 年 3 月 15 日 第2次採用者48人任命、山口県消防学校入学
- 昭和 47 年 3 月 31 日 全消防庁舎竣工(総工事費134,947千円)
- 昭和 47 年 4 月 1 日 柳井市消防吏員(28人)柳井地区広域消防組合へ身分移行(業務開始)
- 昭和 47 年 5 月 1 日 消防職員の所属配置完了(定数105人)
- 昭和 48 年 3 月 30 日 光地区広域消防の業務開始に伴い、田布施町との救急業務委託の契約解除
- 昭和 48 年 4 月 23 日 消防職員12人増員(定数117人)
- 昭和 48 年 6 月 15 日 社団法人日本損害保険協会より水槽付消防ポンプ自動車の寄贈を受ける。「火災保険号」と命名
- 昭和 48 年 8 月 20 日 消防本部に連絡車配備
- 昭和 48 年 8 月 25 日 西消防署、東消防署の本署に査察車配備
- 昭和 50 年 5 月 10 日 消防職員5人増員(定数122人)
- 昭和 50 年 5 月 11 日 第24回山口県消防大会を柳井市に於て開催
- 昭和 50 年 7 月 1 日 東部出張所、中部出張所に査察車配備
- 昭和 50 年 7 月 23 日 東出張所、南出張所に査察車配備
- 昭和 50 年 12 月 25 日 消防ポンプ自動車を西消防署本署に配備
- 昭和 51 年 3 月 25 日 消防本部に別棟車庫新築工事竣工
- 昭和 51 年 3 月 31 日 出張所(4ヶ所)に車庫増築工事竣工
- 昭和 51 年 7 月 31 日 西消防署に救助訓練施設を新設(第1期工事)
- 昭和 52 年 5 月 16 日 消防職員2人増員(定数124人)
- 昭和 52 年 5 月 18 日 無線を増波(3波)するため150.45MHZを新設
- 昭和 52 年 6 月 28 日 東消防署本署に連絡車配備
- 昭和 52 年 8 月 22 日 西消防署の救助訓練施設の整備完了(第2期工事)
- 昭和 52 年 12 月 21 日 社団法人日本損害保険協会より救急車(2B型)の寄贈を受ける。南出張所配備
- 昭和 53 年 3 月 16 日 東消防署本署車庫増築
- 昭和 53 年 6 月 28 日 消防本部に査察車配備
- 昭和 53 年 8 月 1 日 通信指令室を移設、通信指令台を設置、119番専用電話の受信体制完了
- 昭和 53 年 9 月 12 日 消防ポンプ自動車を西消防署本署に配備
- 昭和 54 年 1 月 30 日 東消防署の救助訓練施設(主塔)新設工事竣工
- 昭和 54 年 5 月 1 日 消防職員2人増員(定数126人)
- 昭和 54 年 7 月 25 日 東消防署の救助訓練施設(副塔)施設工事竣工

昭和 54 年 7 月 30 日 水槽車(水槽3.6m³、B3級可搬ポンプ付)を西消防署本署に配備

昭和 54 年 9 月 25 日 財団法人日本消防協会より救急車(2B型)の寄贈を受ける。西消防署本署に配備

昭和 55 年 1 月 20 日 消防本部別棟車庫に上階増築(文書庫)の工事竣工

昭和 55 年 1 月 31 日 山口県生命建物共済農業協同組合連合会より救急車(2B型)の寄贈を受ける。東消防署本署に配備

昭和 55 年 3 月 31 日 消防同報通信システム使用開始

昭和 55 年 9 月 1 日 柳井地区広域消防音楽隊創設(隊員33人)

昭和 55 年 11 月 22 日 消防本部(署)合同庁舎増築(車庫212m²)工事竣工

昭和 56 年 3 月 30 日 柳井市平郡、消防無線中継局新設

昭和 56 年 7 月 20 日 西消防署本署に化学消防車配備

昭和 57 年 1 月 25 日 水難救助隊創設(隊員9人)

昭和 57 年 3 月 7 日 山口県知事より竿頭綬が授与される

昭和 57 年 9 月 16 日 財団法人全国消防協会より緊急給水用ろ水機の寄贈を受ける。消防本部に配備

昭和 57 年 10 月 13 日 中部出張所の救急車更新

昭和 58 年 3 月 9 日 消防庁長官定例表彰において竿頭綬を受章する

昭和 58 年 8 月 28 日 第1回柳井地区広域圏消防操法大会を開催(以降平成17年第23回まで毎年開催)

昭和 58 年 8 月 30 日 東消防署の消防ポンプ自動車を更新

昭和 58 年 11 月 18 日 東部出張所の救急車更新

昭和 59 年 10 月 20 日 南出張所の救急車更新

昭和 59 年 12 月 5 日 南出張所の消防ポンプ自動車更新

昭和 59 年 12 月 20 日 東部出張所の査察車更新

昭和 60 年 7 月 12 日 西消防署本署、中部出張所の査察車更新

昭和 61 年 1 月 13 日 東部出張所の消防ポンプ自動車更新

昭和 61 年 1 月 17 日 無線周波数1波を149.75MHZから153.87MHZに変更

昭和 61 年 4 月 30 日 消防本部のマイクロバス更新

昭和 61 年 5 月 27 日 昭和61年度山口県総合防災訓練を開催

昭和 61 年 11 月 20 日 日本防火協会より防火広報車の寄贈を受ける

昭和 62 年 1 月 27 日 西消防署東出張所の消防ポンプ自動車更新

昭和 62 年 7 月 13 日 東出張所、南出張所の査察車を更新

昭和 63 年 1 月 29 日 消防本部庁舎裏土地(550.84m²)買入(庁舎前広場の一部建設省買収の代替)

昭和 63 年 2 月 22 日 西消防署本署に30m級はしご付消防車配備

昭和 63 年 3 月 26 日 中部出張所の消防ポンプ自動車更新

昭和 63 年 7 月 30 日 東消防署、連絡車、査察車更新

平成 元年 3 月 15 日 西消防署本署、西消防署東出張所救急車更新

平成 元年 6 月 2 日 第38回山口県消防大会柳井市で開催

平成 元年 11 月 30 日 消防本部査察車更新

平成 2 年 3 月 8 日 消防本部と柳井市消防団、消防庁長官表彰旗受章する

平成 2 年 7 月 3 日 県救急医療情報システム端末機器更新

平成 2 年 10 月 6 日 柳井地区広域消防音楽隊発足10周年記念演奏会を開催

平成 3 年 2 月 20 日 安田生命保険相互会社より救急車(2B型)の寄贈を受ける。東消防署本署に配備

平成 3 年 2 月 20 日 消防本部指揮車更新

平成 3 年 3 月 30 日 大星山無線中継局設置工事竣工
平成 3 年 10 月 22 日 組合発足20周年記念式典を開催
平成 3 年 11 月 28 日 大星山無線中継局開局
平成 4 年 3 月 7 日 社団法人日本自動車工業会より救急車(2B型)の寄贈を受ける。東消防署中部出張所配備
平成 4 年 3 月 27 日 消防本部(署)合同庁舎増築(指令室等2階部分209.12㎡)工事竣工
平成 4 年 8 月 27 日 東消防署連絡車更新
平成 4 年 10 月 26 日 社団法人日本損害保険協会より救助工作車の寄贈を受ける。西消防署に配備
平成 5 年 1 月 30 日 西消防署東出張所庁舎移転新築工事竣工
平成 5 年 2 月 4 日 西消防署南出張所救急車更新
平成 5 年 3 月 22 日 緊急通信指令装置整備(第1期)
平成 5 年 8 月 20 日 財団法人日本消防協会より救急車(2B型)の寄贈を受ける。東消防署東部出張所に配備
平成 5 年 8 月 27 日 東消防署本署に資材運搬車配備
平成 5 年 10 月 21 日 東消防署本署に別棟車庫新築工事竣工
平成 5 年 12 月 3 日 西消防署本署に消防ポンプ自動車配備
平成 6 年 3 月 5 日 消防職員定数を131人とする
平成 6 年 3 月 24 日 緊急通信指令装置整備完了(第2期)
平成 6 年 3 月 24 日 東消防署本署基地局無線設備工事竣工
平成 6 年 5 月 16 日 消防本部連絡車更新
平成 6 年 10 月 18 日 消防職員定数を136人とする
平成 7 年 3 月 30 日 西消防署本署救急車(2B型)更新
平成 7 年 8 月 29 日 消防職員定数を141人とする
平成 7 年 9 月 12 日 財団法人日本消防協会より救急車(2B型)の寄贈を受ける。西消防署東出張所に配備
平成 7 年 12 月 18 日 東消防署東部出張所連絡車更新
平成 8 年 3 月 4 日 東消防署中部出張所消防車(CD-1)更新
平成 8 年 3 月 27 日 西消防署備蓄倉庫及び待機室食堂新築工事竣工
平成 9 年 1 月 8 日 東消防署中部出張所連絡車更新
平成 9 年 3 月 7 日 柳井市消防団と消防本部、山口県知事より竿頭綬が授与される
平成 9 年 3 月 12 日 西消防署本署化学消防ポンプ自動車更新
平成 10 年 3 月 31 日 西消防署本署に高規格救急自動車を配備
平成 10 年 6 月 1 日 西消防署本署にて高規格救急自動車の正式運用を開始
平成 10 年 9 月 1 日 山口県総合防災訓練を柳井市で実施
平成 10 年 10 月 22 日 西消防署水槽車を更新
平成 10 年 12 月 14 日 消防本部に指揮車を配備
平成 11 年 3 月 8 日 東消防署水難救助資機材倉庫増築工事竣工
平成 11 年 2 月 23 日 西消防署南出張所用地(1,338㎡)を購入
平成 11 年 7 月 23 日 西消防署南出張所連絡車更新
平成 12 年 1 月 6 日 消防本部予防広報車更新
平成 12 年 1 月 31 日 東消防署本署連絡車更新
平成 12 年 3 月 13 日 西消防署南出張所移転用地造成工事完了
平成 12 年 8 月 9 日 東消防署本署指令車更新
平成 13 年 2 月 26 日 西消防署南出張所新庁舎移転新設工事竣工

平成 13 年 3 月 1 日 消防本部基地局無線新設工事(全国共通波)

平成 13 年 3 月 26 日 東消防署本署高規格救急自動車更新

平成 14 年 1 月 8 日 西消防署東出張所消防ポンプ自動車更新

平成 14 年 1 月 8 日 東消防署東出張所消防ポンプ自動車更新

平成 14 年 8 月 23 日 第31回全国消防救助技術大会に中国地区代表として出場(斜めブリッジ救助の部)

平成 14 年 11 月 29 日 西消防署南出張所消防ポンプ自動車更新

平成 15 年 2 月 19 日 消防本部マイクロバス更新

平成 15 年 2 月 24 日 東消防署本署消防ポンプ自動車更新

平成 15 年 2 月 28 日 消防本部査察車更新

平成 15 年 5 月 24 日 第52回山口県消防大会柳井市で開催

平成 15 年 7 月 10 日 西消防署東出張所査察車更新

平成 15 年 8 月 28 日 第32回全国消防救助技術大会に中国地区代表として出場(斜めブリッジ救助、ロープ登はんの部)

平成 16 年 2 月 23 日 東消防署東出張所高規格救急自動車更新

平成 17 年 1 月 17 日 東消防署中部出張所高規格救急自動車更新

平成 17 年 1 月 17 日 西消防署南出張所高規格救急自動車更新

平成 17 年 3 月 25 日 消防本部消防長車更新

平成 17 年 12 月 8 日 東消防署本署消防ポンプ自動車更新

平成 18 年 1 月 27 日 西消防署東出張所高規格救急自動車更新

平成 18 年 12 月 5 日 消防本部庁舎耐震補強工事竣工

平成 19 年 2 月 14 日 消防本部指令車更新

平成 20 年 4 月 1 日 機構改革により東消防署を西部出張所とし、1署5出張所体制とした。

平成 20 年 8 月 25 日 第37回全国消防救助技術大会に中国地区代表として出場(ほふく救出の部)

平成 21 年 3 月 25 日 柳井消防署高規格救急自動車更新

平成 22 年 8 月 27 日 第39回全国消防救助技術大会に中国地区代表として出場(はしご登はんの部)

平成 23 年 3 月 15 日 消防本部通信指令室指令台更新

平成 23 年 10 月 6 日 柳井消防署西部出張所運搬車更新

平成 23 年 10 月 26 日 柳井消防署救助工作車更新

平成 23 年 12 月 15 日 消防本部庁舎外壁改修工事竣工

平成 23 年 12 月 26 日 柳井消防署に連絡車配備

平成 24 年 7 月 6 日 消防救急デジタル無線システム整備工事着工

平成 24 年 8 月 7 日 第41回全国消防救助技術大会に中国地区代表として出場(はしご登はんの部)

平成 24 年 12 月 27 日 中部出張所耐震改修工事竣工

平成 25 年 10 月 31 日 西部出張所耐震改修工事竣工

平成 25 年 11 月 12 日 柳井消防署消防ポンプ自動車更新

平成 25 年 11 月 14 日 柳井消防署高規格救急自動車更新

平成 25 年 12 月 17 日 柳井消防署積載車更新

平成 26 年 12 月 25 日 柳井消防署はしご付消防自動車更新

平成 27 年 2 月 13 日 消防救急デジタル無線システム整備工事竣工

平成 27 年 3 月 26 日 消防本部車庫増築工事竣工

平成 27 年 6 月 7 日 山口県総合防災訓練を柳井県民局管内で実施

平成 27 年 8 月 29 日 第44回全国消防救助技術大会に中国地区代表として出場(はしご登はん、ほふく救出の部)

平成 27 年 11 月 20 日 一般社団法人日本損害保険協会より高規格救急自動車の寄贈を受ける。柳井消防署西部出張所に配備

平成 27 年 11 月 27 日 柳井消防署東部出張所連絡車更新

平成 28 年 3 月 4 日 柳井消防署東部出張所庁舎外壁等改修工事竣工

平成 28 年 8 月 24 日 第45回全国消防救助技術大会に中国地区代表として出場(はしご登はん、ほふく救出の部)

平成 29 年 1 月 18 日 柳井消防署化学消防ポンプ自動車更新

平成 29 年 8 月 23 日 第46回全国消防救助技術大会に中国地区代表として出場(ほふく救出の部)

平成 30 年 1 月 15 日 柳井消防署東部出張所高規格救急自動車更新

平成 30 年 2 月 27 日 柳井消防署指揮車更新

平成 30 年 10 月 31 日 柳井消防署ホース乾燥塔塗装工事竣工

平成 30 年 11 月 22 日 消防本部連絡車更新

平成 30 年 12 月 4 日 柳井消防署南出張所広報車更新

平成 30 年 12 月 4 日 柳井消防署中部出張所広報車更新

平成 30 年 12 月 18 日 柳井消防署中部出張所高規格救急自動車更新

令和 元年 8 月 25 日 第48回全国消防救助技術大会に中国地区代表として出場(はしご登はん、ロープ応用登はんの部)

令和 元年 11 月 8 日 柳井消防署南出張所高規格救急自動車更新

令和 元年 11 月 8 日 柳井消防署東出張所高規格救急自動車更新

(1) 歴代消防組合管理者・副管理者

○ 管理者

歴代	氏名	就任期間	備考
初代	久甫 侃	昭和46年 6月25日 ~ 昭和48年 2月22日	柳井市長
2代	白地 照彦	昭和48年 2月23日 ~ 平成 5年 2月21日	〃
3代	河内山 哲朗	平成 5年 2月22日 ~ 平成21年 3月26日	〃
4代	井原 健太郎	平成21年 3月27日 ~	〃

○ 副管理者

歴代	氏名	就任期間	備考
初代	鈴川 隆三	昭和46年 6月25日 ~ 昭和57年 9月30日	柳井市助役
2代	村上 龍一	昭和57年10月 1日 ~ 平成 2年 1月16日	〃
3代	森田 武雄	平成 2年 1月17日 ~ 平成 5年 2月28日	〃
4代	錫本 良二	平成 5年10月 1日 ~ 平成12年 3月31日	〃
5代	森中 豊	平成12年 4月 1日 ~ 平成17年 2月20日	〃
6代	上田 順二	平成17年 7月 1日 ~ 平成25年 6月30日	柳井市助役 H19.4.1~副市長
7代	鍵山 有志	平成25年 7月 1日 ~	柳井市副市長

(2) 歴代消防組合議会議員

歴代	氏名	就任期間	備考
初代	粟田 実	昭和46年 7月13日 ~ 昭和48年 2月16日	久賀町議会議員
2代	守田 效	昭和48年 3月 3日 ~ 昭和50年 1月21日	平生町議会議員
3代	辰己屋 正美	昭和50年 3月 4日 ~ 昭和53年12月31日	柳井市議会議員
4代	中本 富夫	昭和54年 3月 5日 ~ 昭和54年10月 9日	橘町議会議員
5代	田中 鉄男	昭和54年12月25日 ~ 昭和58年 8月31日	大畠町議会議員
6代	柳本 速美	昭和58年12月24日 ~ 昭和62年 5月31日	平生町議会議員
7代	神崎 弘司	昭和62年 7月31日 ~ 平成 2年 2月28日	上関町議会議員
8代	弘中 茂美	平成 2年 3月 3日 ~ 平成 3年 5月31日	平生町議会議員
9代	矢野 勝徳	平成 3年 7月12日 ~ 平成 3年 9月30日	東和町議会議員
10代	矢野 勝徳	平成 3年12月24日 ~ 平成 7年 9月30日	東和町議会議員
11代	山谷 良数	平成 7年12月26日 ~ 平成10年 2月27日	上関町議会議員
12代	西村 和夫	平成10年 3月 3日 ~ 平成11年 2月16日	久賀町議会議員
13代	神崎 弘司	平成11年 2月25日 ~ 平成15年 5月21日	上関町議会議員
14代	山谷 良数	平成15年 7月 7日 ~ 平成18年 2月27日	上関町議会議員
15代	魚谷 洋一	平成18年 3月10日 ~ 平成20年11月13日	周防大島町議会議員
16代	山谷 良数	平成20年12月25日 ~ 平成22年 2月27日	上関町議会議員
17代	石丸 東海	平成22年11月29日 ~ 平成25年12月31日	柳井市議会議員
18代	中川 裕之	平成26年 2月27日 ~ 平成27年 5月31日	平生町議会議員
19代	魚谷 洋一	平成27年12月22日 ~ 平成28年 6月13日	周防大島町議会議員
20代	久保 雅己	平成28年 7月 4日 ~ 平成28年11月13日	周防大島町議会議員
21代	海下 竜一郎	平成28年12月26日 ~ 平成30年 2月27日	上関町議会議員
22代	坂ノ井 徳	平成30年 7月19日 ~ 令和 2年 1月10日	柳井市議会議員
23代	細田 留美子	令和 2年 2月20日 ~	平生町議会議員

(3) 歴代消防長

歴代	氏名	在任期間	備考
初代	清原輝夫	昭和46年 8月 4日 ~ 昭和53年 5月22日	
2代	森田武雄	昭和53年 5月23日 ~ 昭和63年 3月31日	
3代	上手與	昭和63年 4月 1日 ~ 平成 3年 3月31日	
4代	江東五月	平成 3年 4月 1日 ~ 平成 6年 3月31日	
5代	牧野緑	平成 6年 4月 1日 ~ 平成 9年 3月31日	
6代	西村正規	平成 9年 4月 1日 ~ 平成15年 3月31日	
7代	長久勇	平成15年 4月 1日 ~ 平成19年 3月31日	
8代	井上栄	平成19年 4月 1日 ~ 平成21年 3月31日	
9代	稲村博	平成21年 4月 1日 ~ 平成23年 3月31日	
10代	山本博	平成23年 4月 1日 ~ 平成26年 3月31日	
11代	丸尾和則	平成26年 4月 1日 ~ 平成29年 3月31日	
12代	西岡則之	平成29年 4月 1日 ~	

(2) 消防庁舎等の概要

(令和2年4月1日現在) (単位:㎡)

	所在地	敷地面積	庁舎			付 属 建 物		
			構造・階数	建 築 面 積	延面積	油 庫	車 庫	その他
消防本部 柳井消防署	柳井市南町 5丁目4番 1号	2,587.64	鉄筋コン クリート 3階建	853.40	1,963.33		186.69	
柳井消防署 南出張所	上関町大字 室津字道の 下191-14	1,339.29	鉄骨造 2階建	259.03	365.25			
柳井消防署 東出張所	柳井市神代 2943-1	981.57	鉄筋コン クリート 平屋建	261.51	256.37			
柳井消防署 西部出張所	周防大島町 大字東三蒲 45-3	2,500.00	鉄筋コン クリート 2階建	287.00	555.93	9.35	99.81	
柳井消防署 中部出張所	周防大島町 大字西安下 庄1282-1	480.79	鉄筋コン クリート 平屋建	155.00	155.40	6.60	25.00	
柳井消防署 東部出張所	周防大島町 大字内入 679-1	564.00	鉄筋コン クリート 平屋建	155.00	155.54	6.60	25.00	
無線中継所	柳井市柳井 Y612-1							局舎 ALC平屋 19.80
無線中継所	周防大島町 大字久賀 1212-12							局舎 ALC平屋 8.99
無線中継所	平生町大字 佐賀字大星 554-1							
柳井消防署 旧南出張所	平生町大字 尾国43-6	710.00						
柳井消防署 旧東出張所	柳井市神代 3007-4、5	155.45						
計		9,318.74		1,970.94	3,451.82	22.55	336.50	28.79

予 算

(1) 令和2年度費目別当初予算

歳 入

(単位:千円)

款 項		目		節	
区 分	金 額	区 分	金 額	区 分	金 額
分担金及び負担金 (特別負担金含)	1,281,022	負 担 金	1,281,022	組 合 負 担 金	1,281,022
使用料及び手数料	1,150	消 防 手 数 料	1,150	諸 手 数 料	1,150
財 産 収 入	122	財 産 貸 付 収 入	88	財 産 貸 付 収 入	88
		利子及び配当金	33	利 子	33
		財 産 売 払 収 入	1	物 品 売 払 収 入	1
繰 入 金	73,800	退職手当積立基金 繰 入 金	68,000	退職手当積立基金 繰 入 金	68,000
		消防施設整備基金 繰 入 金	5,800	消防施設整備基金 繰 入 金	5,800
繰 越 金	20,000	繰 越 金	20,000	繰 越 金	20,000
諸 収 入	8,716	預 金 利 子	16	預 金 利 子	16
		雑 入	8,700	雑 入	8,700
組 合 債	45,600	組 合 債	45,600	消 防 債	45,600
歳 入 合 計	1,430,410				

歳 出

(単位:千円)

款 項		目		節	
区 分	金 額	区 分	金 額	区 分	金 額
議 会 費	201	議 会 費	201	報 酬	139
				旅 費	1
				交 際 費	10
				需 用 費	11
				役 務 費	15
				負 担 金 補 助	25
総 務 費	2,421	一 般 管 理 費	2,379	報 酬	2,151
				給 料	45
				共 済 費	25

款		項		目		節				
区	分	金額	区	分	金額	区	分	金額		
						報	償	費	1	
						旅		費	76	
						交	際	費	30	
						需	用	費	41	
						負	担	金	補助	10
			監	查	委	員	費	42		
						報		酬	28	
						旅		費	1	
						需	用	費	11	
						負	担	金	補助	2
消	防	費	1,282,615	常	備	消	防	費	1,156,318	
						給		料	466,390	
						職	員	手	当	等
						共		濟	費	434,496
						報		償	費	177,919
						旅		費	468	
						需	用	費	3,055	
						役		務	費	38,280
						委		託	費	10,184
						使用	料	及	借	料
						備	品	購	入	費
						負擔	金、	補	助	及
						積		立	金	8,315
						公		課	費	1
										24
										18
				消	防	施	設	費	126,297	
						需	用	費	26,874	
						役		務	費	3,330
						委		託	料	33,462
						使用	料	及	借	料
						工	事	請	負	費
						原	材	料	費	20
						備	品	購	入	費
						負擔	金、	補	助	及
						積		立	金	1,500
						公		課	費	414
										59,477
										508
										11
										701
公	債	費	140,173	元	金	138,689	償	還	金、	利
				利	子	1,484	子	及	割	引
										料
										138,689
										1,484
予	備	費	5,000	予	備	費	5,000			
歲	出	合	計	1,430,410						

(2) 令和2年度各市町分担金及び負担金

(単位:千円)

市 町	区 分	金 額	比 率 (%)
柳 井 市		652,930 (特別負担金含む)	50.94
周 防 大 島 町		320,874	25.04
上 関 町		65,156	5.08
平 生 町		242,699	18.94
計		1,281,659	100.00

※比率は小数点以下第3位を四捨五入しているため、合計しても必ずしも100とはならない。

(3) 決算と人口、世帯数との比較

(単位:円)

年 度	区 分	決 算 額 (歳 出)	人 口 1 人 当 り	1 世 帯 当 り
平成 元		921,612,256	9,938	28,353
平成 2		1,040,234,581	11,832	32,280
平成 3		1,181,891,729	13,444	36,676
平成 4		1,313,721,443	14,943	40,767
平成 5		1,312,278,220	14,927	40,722
平成 6		1,258,793,627	14,319	39,062
平成 7		1,416,147,841	17,017	43,951
平成 8		1,466,547,638	17,727	42,939
平成 9		1,551,957,921	18,918	45,339
平成 10		1,519,467,296	18,712	44,373
平成 11		1,430,542,334	17,783	41,707
平成 12		1,571,021,592	19,710	45,722
平成 13		1,503,711,616	18,978	43,674
平成 14		1,455,251,829	18,564	42,225
平成 15		1,425,531,337	18,320	41,362
平成 16		1,432,682,758	18,489	41,759
平成 17		1,469,844,761	19,612	42,951
平成 18		1,463,852,167	19,809	43,114
平成 19		1,317,450,143	18,074	38,811
平成 20		1,108,685,600	15,003	32,653
平成 21		1,105,366,180	15,346	32,702
平成 22		1,345,846,134	18,880	39,904
平成 23		1,386,689,229	19,698	41,298
平成 24		1,644,902,875	23,646	48,971
平成 25		1,321,434,922	19,325	39,584
平成 26		1,673,583,441	24,884	50,615
平成 27		1,168,734,629	17,671	35,581
平成 28		1,280,963,572	19,736	39,328
平成 29		1,345,971,123	21,111	41,763
平成 30		1,310,009,742	20,955	41,060
令和 元		1,363,828,000	22,211	43,122

人口61,404人 世帯数31,627世帯(令和2年4月1日現在)

人 事

(1) 職員の配置状況

(令和2年4月1日現在)

階級 区分		消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	計
		消防長	1						
消防本部	次長		1						1
	活性化推進室		(1)		(1)				(2)
	総務課		1	1	1	3		2	8
	予防課		1	1	2	1			5
	警防救急課		1	1	8	3			13
	柳井消防署		1	1	1				3
柳井消防署	第1小隊				6	9		2	17
	第2小隊			1	5	10		2	18
	第3小隊			1	4	5		5	15
	第4小隊			1	4	6		4	15
	第5小隊			1	4	4		6	15
	第6小隊			1	4	5		5	15
	第7小隊			1	4	5		5	15
計		1	5	10	43	51	0	31	141

※ ()は兼務。

(2) 職員の年齢構成

(令和2年4月1日現在)

階級 年齢		消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	計
		18 ~ 20							2
21 ~ 25							20	20	
26 ~ 30						15	9	24	
31 ~ 35					3	32		35	
36 ~ 40					16	3		19	
41 ~ 45			2	14	1			17	
46 ~ 50			3	8	9			20	
51 ~ 55					1			1	
56 ~	1	2						3	
計		1	5	10	43	51	0	31	141
平均年齢		59.0	52.8	46.9	41.9	31.7	0	23.8	35.0

(3) 職員の勤続年数

(令和2年4月1日現在)

階級 勤続年数	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	計
	0 ~ 1							2
1 ~ 2								0
2 ~ 3							2	2
3 ~ 4							5	5
4 ~ 5							3	3
5 ~ 6							3	3
6 ~ 7							7	7
7 ~ 8					1		5	6
8 ~ 9					6		4	10
9 ~ 10					6			6
10 ~ 11					5			5
11 ~ 12					7			7
12 ~ 13					8			8
13 ~ 14				1	7			8
14 ~ 15				1	5			6
15 ~ 16				3	3			6
16 ~ 17				3	2			5
17 ~ 18				3				3
18 ~ 19				5				5
19 ~ 20				2				2
20 ~ 21				1				1
21 ~ 22				4	1			5
22 ~ 23			1	4				5
23 ~ 24			1	3				4
24 ~ 25		1	4	3				8
25 ~ 26		1	2	2				5
26 ~ 27			1	4				5
27 ~ 28		1		3				4
28 ~ 29								0
29 ~ 30				1				1
30 ~ 31								0
31 ~ 32			1					1
32 ~ 33								0
33 ~ 34								0
34 ~ 35								0
35 ~	1	2						3
計	1	5	10	43	51	0	31	141

(4) 職員の昇任状況

(令和2年4月1日現在)

階級 年度	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	計
	平成元			3	2	7	
2			1	2	7		10
3	1		1	4	6		12
4			2	3	3	4	12
5		4	2	4	4	1	15
6	1		1	8	4		14
7			3	7			10
8		1	2	6	1		10
9	1	3	1	4	1		10
10			1	8	2		11
11			1	2	1		4
12			1	4	4		9
13						1	1
14			3	2	1	1	7
15	1	4	5	3	3	6	22
16			2		11		13
17			1	3	5		9
18			1		6		7
19	1	2	2	6	4		15
20		1	2	1	2		6
21	1		3		4		8
22		1	2	2	3		8
23	1		3	7	4		15
24		2	2	7	8		19
25		1	5	1	4		11
26	1	2		5	5		13
27		1	1	3	8		13
28		1	1	2	7		11
29	1	2	1	5	9		18
30			1	5	9		15
令和元				5	4		9
2			2	3	3		8

(6)職員特殊技能資格取得状況

(令和2年4月1日現在)

階 級 区 分		消防監	消 防 司令長	消 防 司 令	消 防 司令補	消 防 士 長	消 防 副士長	消防士	計
		自動車 運転 免許	大型自動車		2	7	26	17	
中型自動車					1	13		23	37
中型自動車(8t未満)	1		3	3	16	21			44
準中型自動車(5t未満)									0
普通自動車								5	5
無線	陸上特殊無線技士	1	5	10	43	51		29	139
	アマチュア無線技士			3	3	2			8
危険物 取扱者	甲種			1	3	2			6
	乙種		5	6	26	22		6	65
消防設備士	甲種				2	2			4
	乙種		2	2	13	6			23
予防技術 資格者	防火査察		2	3	9	10		3	27
	消防用設備等		2	4	3	1			10
	危険物		1	2	3	2			8
救急救命士		1	1	2	21	15		2	42
潜水士			1	4	11	8		6	30
小型船舶操縦士			2	2	7	3			14
移動式クレーン運転士				3	24	23		2	52
玉掛作業者				5	23	23		2	53
小型車両系建設機械運転						1		1	2
自動車整備士						1			1
電気工事士					1	1		1	3
毒物劇物取扱者					1				1
酸素欠乏・硫化水素危険作業主任者				2					2
特定化学物質等作業主任者		1	1	3	6				11
衛生管理者			2	1	1	1			5

消 防 音 楽 隊

(1) 音楽隊員の配置状況

(令和2年4月1日現在)

階 級 所 属		消 防 監	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士	計
		消 防 本 部	総 務 課		1			2	
	予 防 課				1				1
	警 防 救 急 課								0
柳 井 消 防 署									0
	第 1 小 隊				2	2		2	6
	第 2 小 隊				2	3			5
	第 3 小 隊				1	2		1	4
	第 4 小 隊				1	1		1	3
	第 5 小 隊				1	1			2
	第 6 小 隊				2			2	4
	第 7 小 隊					2			2
計		0	1	0	10	13	0	6	30

(2) 音楽隊の編制

隊長	指揮者					
1	1					
		フルート・ピッコロ	クラリネット	アルトサクソ	テナーサクソ	バリトンサクソ
		2	4	2	1	1
トランペット	ホルン	トロンボーン	ユーフォニアム	チューバ	パーカッション	
5	3	3	2	2	3	

(令和2年4月1日現在)

(3) 出演状況

(令和元年4月1日～令和2年3月31日)

月 別	出 演 行 事
4 月	周防大島町戦没者慰霊式典
	柳井市戦没者追悼式
8 月	第28回柳井金魚ちょうちん祭り
11 月	令和元年柳井まつり
1 月	令和2年平生町消防出初式
	令和2年周防大島町消防出初式
	令和2年柳井市消防出初式

給 与

職員の付帯給与

(令和2年4月1日現在)

種 別	算 出 基 礎 額
扶養手当	(月額) (1) 配偶者 6,500円 (2) 満22歳未満の子 10,000円 (3) 満22歳未満の孫 6,500円 (4) 満60歳以上の父母及び祖父母 6,500円 (5) 満22歳未満の弟妹 6,500円 (6) 重度心身障害者 6,500円 特定期間にある扶養親族たる子1人につき5,000円加算。
住居手当	(1) 家賃月額 23,000円以下の時 家賃月額-12,000円 (2) 家賃月額 23,000円超の時 (家賃月額-23,000円)×1/2+11,000円 上限 27,000円
通勤手当	距離2km未満 0円、距離2km以上3km未満2,000円、距離3km以上5km未満3,100円、距離5km以上7km未満4,200円、7km以上10km未満5,600円、10km以上15km未満7,100円、15km以上20km未満10,000円、20km以上25km未満12,900円、25km以上30km未満15,800円、30km以上35km未満18,700円、35km以上40km未満21,600円、40km以上45km未満24,400円、45km以上50km未満26,200円、50km以上55km未満28,000円、55km以上60km未満29,800円、60km以上31,600円
特殊勤務手当	(1)危険手当 消防吏員月額 1,000円 (2)火災調査手当 火災原因、損害調査に従事した職員 1件につき 300円 (3)救急出動手当 救急業務、救助業務に出動した職員 1件につき 200円 (4)機 関 員 手 当 火災及び救急業務に機関員として出動した職員 1回につき 300円 (5)火災出動手当 火災の出動指令により火災現場に出動した職員 1回につき 300円 (6)高所作業手当 消防長が指定したはしご車操作員、搭乗員、高所作業に従事した職員 1回につき 500円 (7)潜水作業手当 消防長が指定した潜水作業に従事した職員 1回につき 500円 (8)救急救命士手当 消防長の任命した救急救命士で救急現場に出場し救急業務に従事した職員 1回につき 300円
時間外勤務手当	正規の勤務時間外に勤務した全時間に対して、勤務1時間につき、1時間当たりの給与額の $\frac{125}{100}$ ～ $\frac{135}{100}$ ただし、午後10時より翌日午前5時の間は、1時間当たりの給与額の $\frac{150}{100}$ ～ $\frac{160}{100}$ を支給する。
休日勤務手当	休日における正規の勤務時間中に勤務した全時間に対して、勤務1時間につき、1時間当たりの給与額の $\frac{135}{100}$ を支給する。年末年始等で休日と定められた日に勤務した職員についても同様とする。
夜勤手当	正規の勤務時間として、午後10時から翌日の午前5時までの間に勤務を命ぜられた職員に対して勤務1時間につき、1時間当たりの給与額の $\frac{25}{100}$ を支給する。
管理職手当	消 防 長 $\frac{11}{100}$ 次 長 $\frac{10}{100}$ 課 長 $\frac{9}{100}$ 課長補佐 $\frac{8}{100}$ 署 長 $\frac{9}{100}$ 副 署 長 $\frac{8}{100}$ 出張所長 $\frac{8}{100}$
宿日直手当	勤務1回につき 4,200円 半日の場合は2分の1
期末手当	6月(給料月額+扶養手当)× $\frac{130}{100}$ 12月(給料月額+扶養手当)× $\frac{130}{100}$ (加算措置有)
勤勉手当	6月 給料月額 × $\frac{92.5}{100}$ 12月 給料月額 × $\frac{92.5}{100}$ (加算措置有)